



## 笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

### 考え、表現することの大切さ

5月11日(火)に地震による火災が発生したことを想定し、避難訓練を行いました。担当教員が、防火シャッターを下ろすことも訓練の一つとして行い、子供たちも落ち着いて校庭に避難をしました。子供たちの姿は、とても素晴らしかったです。

私から、子供たちに次の話をしました。

- ・東日本大震災の時、座間市も大きく長時間にわたる揺れに見まわれたこと。経験したことのないあまりの怖さに、子供たちは平常心ではいられなかったこと。
- ・いざという時には、「自分の命を守るために、何をしたらいいのか考えるんだ。」と自分自身に話しかけること。
- ・地震、火災はいつどこで起こるかかわからないからこそ、何も起こっていない今、この時に、今までの学びを生かして、命を守るためにできることを考えておくこと。

最後に、自分で考えたことをおうちの人にも話してほしいこと、どんなことを考え、話したのかを教えてくれる人は、校長室に来てほしいことを伝え、話を終えました。

その後、校長室に3年生が7人来て、自分が考えたことを話してくれました。

「頭を守るものがなければ教科書で頭を守る。でも、教科書は柔らかいからもっと固いものがいい」「机の下に隠れる」「大きな揺れで机が倒れないように机の脚をしっかりと持つ」「火を消すために消火器を持ってくる」「そばになれば自分の水筒をかける」「倒れそうな物のそばに避難しない」「校庭にい

たら頭を守り真ん中に避難する」「下校途中であれば、ランドセルで頭を守る」等、今までの学びを生かして、たくさんの考えを話してくれました。語呂合わせを考えた子もいました。「お・う・ま」です。「お」は、おさない、「う」は、うるさくしない、「ま」は、マスクなどで口や鼻をおさえる…でした。

さらに素晴らしかったのは、お互いの話を聴き合いながら、「それ、いいね。」と伝えたり、拍手をしたりして、お互いの意見を尊重し合う姿を見せたことです。

自分で考える→考えたことを外に出す→自分の考えが明確になる→考えが自分のものになる→他者に認められて自信がもてる・・・こういったサイクルを何度も何度も経験させていくことが子供たちの力になっていくと考えています。

自分の命は自分で守ること、そのために今、何を考えておいたらいいのか、ぜひ御家庭の中で、子供の考えに耳を傾けながら、話し合っていただけたらと思います。

### 素敵な瞬間



2階を駆け上がろうとした友達に「右側をゆっくり歩きましょうね！」と階段に貼ってある言葉を見て、声かけしたのは1年生。その声かけによって、自分の行動を振り返ることができた1年生。笑顔で階段を上る二人。素敵な瞬間でした。いいものがお互いの中に流れていくことは、子供たちの心が豊かになっていくと改めて思いました。